
東北大学陸上競技部

OB・OG 通信

2024 年 VOL.1 (2024.6)

- 今年度の抱負 2~6 ページ
 - 令和 6 年度三秀会総会 7 ページ
 - 令和 6 年度卒業祝賀会 7~8 ページ
 - 今後の予定 8 ページ
 - 編集後記 8 ページ
-

◎主将、女子主将、各 PC から今年度の抱負

主将 西尾 陸大

2023 年度七大学対抗戦より主将を務めています、西尾陸大と申します。まず初めに、OBOG の皆様による多大なるご厚志及び温かいご声援につきまして、部員一同を代表し心から感謝申し上げます。皆様のおかげで昨年度も何の不便なく競技に励むことが出来ました。今後ともご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

前年度はようやく新型コロナウイルスが落ち着き、存分に陸上競技に取り組める環境が戻ってきた嬉しいシーズンでした。しかし私たちにとっては、全日予選の惜敗、マイルリレーの日本インカレ標準の未突破をはじめとして、主要選手の相次ぐ怪我など「良い流れの断ち切り」が目立つ、非常に悔しいシーズンでした。新3年生となったパートキャプテンは、そんな悔しいシーズンの悔いを晴らそうと各々自分なりにリーダーシップを発揮し、熱意を持って各パートを引っ張ってくれています。実力や競技意識も申し分ないうえチームも強くしてくれている、非常に頼りになる熱い選手たちです。もし会ったらよくやっているらしいねと褒めてやってください。

今年度は部としてまだ具体的な目標を定めていません。正選手決定次第、現実的に達成できる目標を設定する見込みです。前年度東北地方および七大学でまだ力が通用しない現状を受け、むやみに優勝などと目標を掲げるにはまだ早いチームだと感じました。今年度はチームとしての土台構築が必要だと認識し、ミーティングなどマイクロなパートマネジメントを通し部全体の競技意識およびチームへの帰属意識の底上げを図っています（ここでパートキャプテンたちが非常に頑張ってくれています）。結果として、私の所感ですが今年はこの4年間でもっとも一体感のあるチームになっていると感じます。全パートが隔たり無く交流し、刺激し合い、そして同じ方向を向いて対抗戦に臨んでいく。対校戦を勝ち切るために必要なチーム精神がこの冬を通し強固なものになってきています。みなさんよくやってくれました。またこれも所感ですが、今年度は陸上バカが確実に増えました。入部して4年目になりましたが、今年が一番暑苦しいです。今年はそのような雰囲気でしたから、全パートが非常に充実した練習を積むことができ、体力的にも精神的にも成長できたのではないかと思います。

この抱負を書いている今日も各パートから好記録速報が飛んできました。来る5月末の東北インカレに向けて、各パートが調子を上げ、いい流れを作りだしてきています。ただ、長いシーズンの始まりに過ぎないので、全く油断はできません。いい流れを作ること、いい流れを断ち切らないことには全く別の難しさがあります。それは私たちが一番よく分かっています。前年の反省を活かし、「一年を通し」「選手が万全」で、「納得のいく結果に結びつけるシーズンにしていけます」。以上三点が今年度の抱負です。長くなり

ました。今後の選手たちの活躍に是非ご期待ください。今後とも応援の程よろしく願います。

女子主将 原田 萌々子

2023年の8月から女子主将を務めております、原田萌々子と申します。7月末に開催される七大戦までという残り少ない任期とはなりますが、引き続きよろしく願いいたします。

新学期が始まり、今年も多く的一年生が入部しました。加えて今年的一年生も頼もしい部員ばかりで、部全体がさらに活気に満ちあふれているように感じます。

そのような現状も踏まえた上で、私からは女子パートの今年度の抱負について述べさせていただきます。目標は、「様々な面において昨年度を超える」ということです。「様々な面」と抽象的な言葉を用いた背景には、競技の成績だけではなく、応援やサポートなどといった結果に繋がる土台の面も重要視していることがあります。部全体の取り組みとして「常勝校になるための土台作り」ということに注力し、以前に比べてまとまりが出てきました。そのいい流れを東北インカレ・七大戦に繋げていくことは、大会成績だけでなく今後の部がさらに発展していく上で良い影響をもたらすと考えます。昨年度は七大戦女子3位という成績に加え、パートも非常にまとまりのあるよい雰囲気でした。昨年度を超えるというのは簡単な目標ではありませんが、女子ミーティングでのコミュニケーションや意見の出しやすい空気作りに注力し、目標達成に向かって頑張っています。加えて、パート・学年を超えた交流が多くあるのが女子パートの強みだと思うので、その強みを生かして東北インカレ、そして七大戦まで戦い抜いていきたいです。

最後に、私たちは皆様からの多大なるご支援のおかげで活動できています。心よりお礼申し上げます。目標達成できるよう部一丸となって頑張りますので、引き続き応援・サポートのほどよろしく願いいたします。

短距離パート抱負

新短距離PC 阿部 竜胆

昨年の七大戦を境に前短距離PCである川野輪さんから短距離PCを引き継ぎました阿部竜胆です。

去年の東大が主管で行われた七大戦において、短距離は個人種目では自分の400mHと現ハードルPCである西里の110mHでしか得点を取ることができませんでした。自分に短距離PCが代わる、まさにその当日に我々東北大陸上部の短距離は他の六大学に手も足も出なかったという状況を突き付けられました。タイムを見れば十分得点を取れる可能性がある人でも怪我や調子が合わずに負ける姿に、努力している面を見ているからこそどかしさを感じていました。ある意味敗北した我々ですが、来年の名古屋の地では短距離パートが躍進できるように自分はこれから一年間、力を注いでいかないといけないと決意しました。

陸上部に入ったからにはおそらくみんなは自己ベスト更新を求めて努力するでしょう。そんな中で自分がやらなければいけないのは「対校戦で勝てるチーム作り」だと思います。昨シーズンの反省を踏まえて、有酸素系のメニューを増やしながら出力系のメニューとうまく組み合わせながら怪我をしないチーム作りを目指しています。幸いにも二月時点では大きな怪我はまだ出ていないのでこのまま継続していきたいと思っています。来シーズンの目標としては「マイルで全日本インカレ出場」「四継で部記録更新」を掲げています。短距離を引っ張る PC としての個人的な目標といたしましては「400mH で A 標準を切って全カレ出場」です。「対校戦に出るならば得点をとらなければ意味がない」、この意識をチームの中に浸透させながら、来シーズンも邁進していきますので短距離への引き続きの応援のほどよろしく願いいたします。

ハードルパート抱負

新ハードル PC 西里 碧澄

ハードル PC の西里碧澄です。今年度のハードルパートの目標は、

- ・全員が PB を更新する
- ・東北インカレ、七大戦のパート優勝

です。

昨シーズンは、各大会で入賞した選手はいたものの、得点という形で部に貢献できるほどパート全体として大きな結果を出すことができませんでした。しかしその中でも、1・2年生を中心に着々と実力を上げてきている選手が多く見られ、来シーズン以降の結果が期待できる大いに収穫のあるシーズンであったと感じています。怪我により昨シーズン思うように出場できなかった選手や留学から帰ってこられた先輩方も加えて、パート一丸となって来シーズンこの目標に挑戦していきたいと思います。今後とも応援の程よろしく願いいたします。

中距離パート抱負

新中距離 PC 錦戸 昂雅

昨年 12 月より中距離 PC 務めております、錦戸昂雅です。まず、日頃から私たちがいい練習環境で練習できているのも多くの方々からの力添えのおかげであり、ご尽力頂いた全ての方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。

今シーズンの中距離パートの目標は①全員が PB 更新、②東北インカレ、七大戦ともに昨年の得点を上回る、としました。昨シーズンは男女ともに 800m で部記録更新、全日本インカレ出場、と輝かしい記録が誕生しました。さらに、多くの部員が PB 更新、また、東北 IC、七大戦共に下級生の活躍もあり、飛躍の年だったと思います。今シーズンはこの昨年の結果を上回り、さらなる飛躍を目指したいと考えています。そのためにも、だれが正選手になっても得点が取れるようなレベルを目指し、パート全体で底上げをしていきたいと思います。

昨シーズンまでは前任の大塚 PC が PC としても選手としても中距離パートを引っ張ってくださり、強い中距離パートの流れを生み出してくださいました。今シーズンはその流れをさらに加速させ、目標の達成を目指したいと思います。私自身としても、PC としてお互いに切磋琢磨して高め合える環境づくりや、目標を達成できるようなメニュー作りをすると共に、選手としてもパートを引っ張れるような結果を残せるよう精進していきます。今後とも中距離パートへのご声援のほどよろしく願いいたします。

長距離パート抱負

新長距離 PC 杉山 大輔

長距離 PC を務めております、杉山です。

はじめに、監督や部長をはじめとした役職者の方々、そして OB・OG の皆様のご尽力によって、整った練習環境で活動できていることをこの場をお借りして感謝申し上げます。

昨年は春から予選会までのトラックシーズンにおいて主に上位の選手の怪我や体調不良が多く、対抗戦や記録会で思うような結果を残すことができず、その影響もあり全日本大学駅伝予選会敗退し、昨年のパート目標を達成することができませんでした。しかし、1 年生を中心に着実に実力をつけ、より層の厚いチームになりました。

今年度の長距離パートの目標は「全日本大学駅伝予選会優勝、および全日本大学駅伝出場」となっています。昨年の予選会敗退を経験したことで部員達が危機感を覚え、なぜ敗退したのか、どうすれば勝てるのかなどを話し合い、より質の高い練習が積めてきておりチームの雰囲気はより良くなっているため十分達成できる目標だと思います。

私自身選手として良い結果を出すことはもちろん、PC として選手同士が互いに刺激しあえる環境、より効果的なメニューを作るなど、目標達成に貢献できるよう努めていきたいと思っています。今後とも長距離パートへの応援のほどよろしく願い致します。

競歩パート抱負

新競歩 PC 代理 田中 伊織

競歩 PC 代理としてご挨拶させていただきます、長距離パート所属の田中伊織です。現在は競歩パートに競歩を専門とする部員がいない状況ではありますが、昨シーズンは長距離パートから 3 名の選手が競歩種目に出場することができました。競歩パート未所属にもかかわらず、各大会に出場するにあたり卒業生の方々には多くの応援、激励、サポートを頂きました。この場をお借りして、お力添えに深く御礼申し上げます。

さて、今シーズンの目標は、「東北インカレ、七大戦での得点獲得」

「10000mW,5000mW の PB 更新」です。昨シーズンは東北 IC で 7 位・8 位入賞、七大戦で 8 位と、少ない練習時間のなか、安定した成績を収めることができました。さらに、PB 更新者や今シーズンも経験者が 2 名残り、対校戦へ出場する意思を持っております。大会では昨年以上の順位、得点、そして部歴代記録にも迫る結果を目指して精進してまいりま

す。また、新入生や既存部員の競歩経験者への声かけも行い、主要大会における競歩の正選手3枠を常に埋められるよう、選手選考にも注力していきたいと思えます。

最後になりますが、競歩に取り組む自覚と責任を持って日々の練習に邁進して参りますので、今後ともご声援のほど何卒よろしくお願い致します。

跳躍パート抱負

新跳躍 PC 島村 惟葵

昨年8月より跳躍PCを務めさせていただいている島村惟葵です。

はじめに、多くの方のご支援のもと毎年購入させていただいている棒高跳のポールを2023年度においても2本購入させて頂いたことについて、この場を借りて御礼申し上げます。

さて2024年度のパート目標は「東北IC・七大戦出場種目表彰台」「全員PB更新」です。昨シーズンでは多くの方がPBを更新、またはPBに近い成績を残すことができました。パートの雰囲気や練習量は前PCの働きかけによってより良くなっており、みな意欲的に練習を行っております。しかし、七大戦では地力の差を見せつけられ、パートとして思うような結果を得られなかったことも事実です。そこで、部員の士気の高さを活かさずは走力、筋力から鍛え上げることで怪我を減らし、長期的に記録の向上を狙えるようにします。また部員の士気が下がらないように練習を工夫するとともに、皆が練習、陸上競技を楽しめるよう尽力して参ります。

私自身未熟ではありますが、パート部員と切磋琢磨し、成長できるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

投擲パート抱負

新投擲 PC 平谷 めるも

昨年8月より投擲PCを務めております、平谷めるもです。

はじめに、今年はOBの今泉さん、吉川さんからご指導を頂き、また、槍、メディシンボールなどをはじめとした備品の購入もいたしました。このような恵まれた環境で活動をさせていただいていることに、この場をお借りして感謝を申し上げます。

さて、今シーズンの目標と致しましては、「大会に出場した部員のPB更新」「東北ICで全員入賞」「七大戦で全員表彰台」の3つを掲げております。

昨シーズンは、新しく入部してくれた1年生と3年生、及び混成選手のおかげで、七大戦での大量得点を実現することが出来ました。既存の部員も新入生から刺激を受け、PBを着実に更新してくれました。また、以前までは普段の練習人数は2名でしたが、槍投、ハンマー投で2名ずつの計4名に増えたため、技術練習の質が確実に上がっております。それを踏まえ、練習に来ているメンバーに関し、上記の目標を設定いたしました。自己分析、目標設定、練習メニュー作成が得意な仲間なので、期待をしております。

投擲は少数精鋭のため、1人でも欠けると、対抗戦で大きな失点につながるため、PCとしては声かけなどの雰囲気作りに尽力いたします。メンバー全員が良い結果を残し、部に貢献できるよう頑張りますので、引き続き応援のほどよろしくお願い致します。

○令和 5 年度三秀総会(12/3)

新宿 ビアレストラン ライオン会館

2015 年から、東京にて三秀総会が開かれるようになりました。日程は、奥多摩溪谷駅伝競走大会の開催日に合わせています。コロナの影響で、2020～2022 年は総会を書面にて開催しましたが、2023 年は、4 年ぶりに対面で、新宿ビアレストランライオン会館にて開催されました。

村橋幹事長(S58)の開会宣言の後、岩渕会長(S47)が挨拶を述べました。総会は、村橋幹事長が議長を務め、令和 5 年度活動報告、会計報告が行われました。また、令和 6 年度活動計画、予算審議が行われ、承認されました。

役員改選では、三秀会の運営の充実をはかるべく、体制の変更が提案されました。会報担当幹事に大浦譲さん(S54)、会費担当幹事に後藤康宏さん(S58)、名簿担当幹事に渡邊朝生さん(S58)、渡邊裕生さん(S62)、千葉雄司さん(H11)が選任されました。また、千葉智史さん(H30)から藤井佳祐さん(H30)への幹事交代が提案され、承認・選任されました。

総会の後、同会場にて忘年会が行われました。参加者全員から近況報告していただきました。

出席者（敬称略）

藤田文夫、岩渕明、稲見文雄、勝又孝文、柴田清、泉秀明、大浦譲、大岩章夫、園盛之介、深澤博、槇山正春、村橋光臣、服部眞徳、三浦得雄、菊池浩、彦坂幸毅、久保正樹、和泉俊介、菅原靖宏、石原武雄

○令和 5 年度卒業祝賀会(2/24)

仙台サンプラザ

この会は平成 24 年に始まり、現役部員諸君が卒業後に三秀会会員として活躍することを期待して企画しています。祝賀会は、三秀会会員が今春学部を卒業する陸上競技部員を招待し、お祝いするという形式で開催しました。

今年は、後藤康宏さん(S58)が企画を担当し、2024 年 2 月 24 日（土）に仙台サンプラザにて開催しました。参加者は卒業生が 22 名、OB・OG が 16 名、でした。更に当日参加ができなくて祝意のご寄付を寄せてくださった OB・OG が 8 名でした。コロナ前のように、立食形式で開催することができました。

はじめに、岩渕明会長が卒業生諸君に祝辞を伝え、続いて佐藤源之顧問が乾杯の挨拶を発声され開宴となりました。暫く歓談した後、卒業生一人一人が、4 年間の競技生活を振り返るとともに、今後の進路および三秀会会員としての抱負を述べてくれました。また、

参加した OB・OG にそれぞれご挨拶いただき、最後に、彦坂副会長が手締めをしました。

出席者（敬称略）

岩渕明、及川拓郎、源栄正人、佐藤健二、大浦譲、佐藤源之、眞山隆徳、渡邊朝生、後藤康宏、村橋光臣、彦坂幸毅、加藤尚、宮野知生、久保正樹、吉田真人、小釜莉代

祝意のご寄付（敬称略）

稲見文雄、勝又孝文、柴田清、大原綾、池田光司、武康彦、奥津多加志、匿名 1 人

◎今後の予定

- ・ 5/25(土) 部員総会ならびに東北インカレ壮行会
- ・ 5/31(金)~6/2(日) 第 77 回東北学生陸上競技対校選手権大会 (ND ソフトスタジアム山形)
- ・ 6/16(日) 第 85 回北海道大学対東北大学陸上競技定期戦 兼 第 37 回北海道大学対東北大学女子陸上競技定期戦 (北海道岩見沢市 東山公園陸上競技場)

◎編集後記

いよいよトラックシーズンの開幕です。各パートで厳しい冬季練習を耐え抜いた選手たちの努力の成果が十分に発揮される季節です。選手一人ひとりの目標はもちろん部一丸となって目標達成に向け日々練習に励んでいます。今年も三秀会員様に良い報告ができるように日々精進して参りますので、本年も東北大学陸上競技部の応援のほどどうかよろしく願いいたします。

文責 OBOG 通信担当 大村将伸
編集補助 竹田康人、須藤桃由

東北大学陸上競技部三秀会
〒980-0815 仙台市青葉区花壇 2-1
東北大学評定河原グラウンド内
hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp